

The Record 2022

7・8 July / August

vol. 740

令和3年度事業報告

東京国際ミュージック・マーケット、新たなフェーズへ

「知的財産推進計画 2022」が決定



2022

7・8

July / August

CONTENTS

- 1 Monthly News Digest
- 3 **特集**
令和3年度事業報告
- 7 **特報**
東京国際ミュージック・マーケット、
新たなフェーズへ
- 8 **特報**
「知的財産推進計画2022」が決定
- 9 **連載**
私の1枚 Season2
- 10 Data File
- 11 Monthly Production Report
- 13 Certification



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

Monthly News Digest

5/11&12 **Wednesday & Thursday**

IFPI国際演奏権委員会開催

5月11日・12日の2日間、IFPI(国際レコード産業連盟)が主催する国際演奏権委員会(Global Performance Rights Committee)がオンラインで開催され、各国レコード権利管理団体およびメジャーレコード会社の担当責任者など約100名が参加した。

会議では、レコード権利管理団体の2021年使用料徴収実績がIFPI事務局から報告され、2020年著作権法改正(2021年6月施行)によりレコード製作者の演奏権が導入された中国について、大幅な徴収増の予測が共有されたほか、放送・演奏・配信等の使用料分野ごとの徴収・分配業務における課題や各国の取り組みについて紹介が行われた。また、2020年は新型コロナウイルスの影響によるレコード演奏施設の休業等により、レコード使用料徴収額が全世界で10%強減少したものの、2021年は前年比でプラス成長に転じており、2024年にはコロナ前の水準に回復するとの予測が示された。

5/18 **Wednesday**

IFPI中央理事会開催

5月18日、IFPI(国際レコード産業連盟)中央理事会がアラブ首長国連邦(UAE)のアブダビで開催された。今回の会議はハイブリッド形式で開催された。

中央理事会は、IFPIフランス・ムーア会長を議長とし、メジャーレーベル代表、インディーレーベル代表、主要国のレコード産業団体代表らによって構成される会議であり、今回はIFPI事務局を含め29名が参加した。当協会からは会長代理として畑常務理事・事務局長がオンラインにて出席した。

IFPIは、UAEにおけるレコード使用料(放送、レコード演奏使用料等)の徴収団体をアブダビに設置することを計画している。この度中央理事会をUAEで開催した目的は、集中管理団体設置

に係る円滑な手続きやUAEにおける音楽産業の持続的発展を目指して、関係省庁との密接な協力関係を構築することであった。そのため、関係省庁の大臣や上級官僚らとの会議もあわせてセットされた。UAEが属する中東・北アフリカ地域(MENA)のレコード市場はまだ発展途上ではあるが、近年は年率35%で拡大を続けている。また、UAEには最大のリゾート都市であるドバイを中心に多数のショッピングモールやホテルがあり、レコード演奏市場として大きなポテンシャルが期待されている。

理事会では、2022年第1四半期の全世界音楽セールスについて、ストリーミングが引き続き好調な伸びを続けている状況が報告された。また、日本からは今年1月1日に施行された改正著作権法の概要などを説明した。

次回は、今年11月に韓国で開催される予定である。

6/10 **Friday**

江戸川大学にて出張講義を実施



6月10日、千葉県・流山市の江戸川大学にて、当協会著作権・契約部 苅部部長が「デジタル・ネットワーク環境におけるレコードの適正利用」と題した講義を行った。同大学で初の実施となる本講義は、社会学部経営社会学科音楽ビジネスコースを専攻している2、3年生を対象に開講されている「経営社会演習」の1コマで、約30名の学生が出席した。

講義ではレコード産業の変遷や音楽ビジネスの仕組み、音楽ができるまでの工程などを説明したあと、日本の音楽市場概況について説明を行った。続いて、レコードに係る権利やレコードを適正に利用するための手続き、権利者の許諾が不要な利用についての注意点などについて解説を行った。

6/24 Friday

定時総会・第552回理事会 開催 村松会長再任

6月24日、当協会は東京都千代田区の東京會館LEVEL21において、定時総会および第552回理事会を開催した。定時総会では、令和3年度の事業報告および決算報告の審議承認の後、役員を選任が行われ、理事・監事ともに候補者全員が承認を得て選任された(事業報告書の詳細は、3~6ページ「令和3年度事業報告」に掲載)。役員は2024年6月の定時総会までの2年間となる。

引き続き開催した第552回理事会では、村松 俊亮氏が会長、林 真司氏、藤倉 尚氏、吉村 隆氏、小林 和之氏の四氏が副会長に、それぞれ再任された。会長、副会長、顧問の任期は2024年6月の定時総会までの2年間。

当協会役員人事 (6月24日付)

■再任

[会長]

村松 俊亮

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長 CEO

[副会長]

林 真司

エイベックス株式会社
代表取締役CFO

藤倉 尚

ユニバーサル ミュージック合同会社
社長兼最高経営責任者

吉村 隆

株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長

小林 和之

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
代表取締役社長 兼 CEO

[理事]

吉田 真市

日本コロムビア株式会社
取締役副会長

齊藤 正明

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
代表取締役会長

村上 潔

キングレコード株式会社
代表取締役社長

村上 剛

株式会社テイチクエンタテインメント
代表取締役専務

片岡 恵介

日本クラウン株式会社
代表取締役社長

北島 浩明

株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
代表取締役社長

安岡 喜郎

株式会社ハップ
代表取締役 社長執行役員

後藤 豊

株式会社フォーライフ ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長

荻野 伸之

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
代表取締役社長

鈴木 孝明

株式会社バンダイナムコムミュージックライブ
代表取締役社長

[専務理事](昇任)

畑 陽一郎

一般社団法人日本レコード協会

[理事・事務局長]

須貝 あゆみ

一般社団法人日本レコード協会

[理事](新任)

楠木 靖

一般社団法人日本レコード協会

[監事]

楠木 紳市

株式会社ドリーミュージック
代表取締役社長

坂内 光夫

株式会社よしもとミュージック
代表取締役社長

石田 英遠

アンダーソン・毛利・友常法律事務所
弁護士

[顧問]

依田 巽

株式会社ドリーミュージック
取締役最高顧問

■退任

[専務理事]

原 康晴

[顧問]

重村 博文

会員社のお知らせ

■移転(6月27日付)

社名:

株式会社フォーライフ ミュージック
エンタテインメント(正会員)

新住所:

〒150-0036
東京都渋谷区南平台町16-11
MFPR渋谷南平台ビル8F

電話番号:

03-6409-6983 (変更なし)

■代表者変更(6月1日付)

社名: 株式会社SDR(準会員)

変更後: 代表取締役社長 宮下 昌也

変更前: 代表取締役社長 菅谷 憲

日比谷音楽祭2022開催

6月3・4・5の3日間にわたり、東京・日比谷公園とその周辺施設で入場無料の音楽イベント「日比谷音楽祭2022」が開催された。今回は、徹底した感染対策を講じた上での3年ぶりの有観客ライブに加えてオンライン生配信も実施されるハイブリッド形式での開催となった。

日比谷公園大音楽堂(野音)はこれまでライブの開催が土日祝日に限られていたが、今回の日比谷音楽祭では今後の野音ライブ平日開催に向けた実証実験として、6月3日(金)夜に東京都と協働で音量調査を行いながら「Friday Night Acoustic」と題したライブも試行した。

3日間で総勢45組を超える多彩なジャンルのアーティストが集い、この場限りのスペシャルコラボが繰り広げられたライブでは、会場中がライブの喜びを噛みしめ分かちあっていた。その他、日比谷公園を中心とした会場ではワークショップやトークショー、楽器体験など幅広い世代に向けて様々な音楽体験を味わえる各種プログラムが催され、3日間で約10万人を動員し盛況のうちに幕を閉じた。

▶日比谷音楽祭公式サイト

<https://hibiyamusicfes.jp/2022/>



©日比谷音楽祭実行委員会
(6/5Hibiya Dream Session3より)半崎美子、
藤井フミヤ、KREVA、マレー飛鳥、山弦、
The Music Park Orchestra

JDDA主催のDJプレイ配信に係る 協力金寄付のお知らせ

当協会は、一般社団法人JDDA/ Japan Dance Music&DJ Association(JDDA)が2021年7月17日から2022年1月16日までの半年間、特設サイト「Japan DJ net Online」で実施したDJプレイのライブ配信について、コロナ禍の音楽活動において困難に直面するDJの方々への支援として、賛同する正会員レコード会社の邦楽レコード音源の使用に協力する特別措置を講じました。

この度、当協会は、JDDAより受領した特別措置に係る協力金をすべて、ライブエンタメ従事者支援基金「Music Cross Aid」へ寄付しましたのでお知らせいたします。

当協会は、新型コロナウイルス感染症の一刻も早い収束とともに、今回の取り組みがコロナ禍で甚大な影響を被った音楽業界復興の一助となることをお祈り申し上げます。

▶一般社団法人JDDA/ Japan Dance Music&DJ Association
<http://jdda.tokyo/>

▶ライブエンタメ従事者支援基金「Music Cross Aid」
<https://www.musiccrossaid.jp/>

令和3年度事業報告

令和3年の市況を振り返ると、音楽配信売上が11年ぶりに800億円を超えて895億円（前年比114%）となり、8年連続のプラス成長を達成した。特にストリーミング市場は前年比126%の744億円と伸長して音楽配信市場におけるシェアが83%に拡大し、ダウンロード市場（141億円）の約5倍となった。他方、音楽ソフト（オーディオレコード+音楽ビデオの合計）の生産金額は、オーディオレコードが前年比99%の1,280億円、音楽ビデオが前年比102%の656億円となり、合計の年間生産金額は前年比100%の1,936億円となった。この結果、音楽ソフトの生産金額と音楽配信売上の合計は前年比104%の2,832億円となり、3年ぶりのプラス成長となった。

このような環境下、当協会では、担う役割を3つ（①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業からのメッセージを「伝える」）に整理し、優先度を付けて以下の事業に取り組んだ。

事業活動

[1]レコードの普及に関すること

1. 「音楽CDの再販制度」の維持と弾力運用の推進

- (1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書にとりまとめ、3月に公正取引委員会へ提出し、当協会ホームページで公表した。
- (2) ユーザーへの還元施策の一環であるインターネット廃盤セールについては、コロナ禍の影響等から出品数の大幅な減少が見込まれたため、今年度の開催は見送った。

2. 業界広報の強化

正規音楽サービスの利用を阻害する違法音楽アプリの利用抑止に向けて、利用実態の変化・動向を把握することを目的とし、昨年度に引き続き違法音楽アプリ利用実態調査を11月に実施した。今年度は令和2年改正著作権法が規制の対象とするリーチサイトにも範囲を広げ調査分析を実施した。違法音楽アプリの利用者数は人口推計で約37万人と前回調査の約6割にまで減少（64万人から37万人に減少）し、同改正法施行後1年で更なる利用者の減少が見られた。これらの調査結果を報告書にとりまとめ、当協会ホームページで公表するとともにプレスリリースの発信を行い、改正法の周知に努めた。

3. 需要喚起関連事業

ヒットの指標を示し、更なる市場活性化を図る目的で令和2年4月から公表を開始したストリーミング認定について、令和3年9月度認定においてYOASOBI「夜に駆ける」が史上初のダイヤモンド認定（累計再生数5億回突破）を達成した。プレスリリース発信によりメディア露出を図った結果、音楽ファンの大きな

注目を集めた。

また、成長を続けるストリーミング市場の状況をより的確に反映するためストリーミング認定の見直しを行い、集計対象サービスの追加とシルバーランク（累計再生数3千万回以上）廃止の改訂を実施し、令和4年1月度から運用を開始した。

4. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

ストリーミング賞の対象サービス追加に関する見直しを行い、第36回となる「日本ゴールドディスク大賞」各賞を3月14日に発表した。アーティスト情報、コメント動画等を掲載した専用サイトを公開し、プレスリリースの配信と併せて当協会公式ツイッターによる情報発信を行い、メディア露出を図った。

5. 日本音楽の海外展開の促進

会員各社の海外展開を支援する施策は、平成29年度から一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）に一本化しており、今年度は下記施策の実施を支援した。

- (1) オンライン開催となったJMCE主催「第18回東京国際ミュージック・マーケット（18th TIMM）」（11月1日～3日開催）への運営支援を行った。3日間累計の延べ来場者数は20,000名を超え、海外バイヤーや出展者関係者、音楽業界のビジターやメディア関係者等が参加するビジネスエリアには約1,000名が来場した。また、特設サイト「TIMM ONLINE」上では、海外バイヤーと出展者との商談・ネットワーキング、7本のビジネスセミナーや16本の出展者・バイヤープレゼンテーションの配信、16組のアーティストによるショーケースライブの配信が展開された。

(2)JMCEが平成30年2月から運営する海外向けアニソンサイト「JAM LAB.(Japan Anime Music Lab.)」の令和3年度のPV数は114,953PV、3月31日時点での同サイトの登録者数は564名となった。

6. RIAJセミナーの開催

会員社を対象に計7回オンラインで開催した。

- ① 4月9日「新入社員合同研修会」
- ② 4月22日「2020年度音楽メディアユーザー実態調査報告会」
- ③ 7月2日「最近の労務問題」
- ④ 7月14日「ドルビーアトモス説明会」
- ⑤ 12月23日「著作権行政をめぐる最近の動向について」
- ⑥ 2月22日「違法音楽アプリ及びリーチサイト利用実態調査報告会」
- ⑦ 3月28日「2021年度音楽メディアユーザー実態調査報告会」

7. 音楽権利情報データベースの充実

文化庁が実施した「コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業」の成果を継承し、そのデータベース事業を民間で継続するため、令和3年4月1日に「一般社団法人音楽情報プラットフォーム協議会」(新MINC)を設立した。当協会は、新MINCの構成団体として、音楽権利情報データベースの充実化等の業務に尽力した。その結果、新MINCが運営する『音楽権利情報検索ナビ』で公開する楽曲数は、今年度末時点で約1,075万件まで拡大した(4月1日時点約992万件)。

[2]レコード等に関する調査研究 およびデータの収集

1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績ならびに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公表した。

音楽配信売上実績の統計については、国内の市況を正確に反映したデータ公表を目的として、国際レコード産業連盟(IFPI)の統計と基準を統一するルール見直しを行った。集計カテゴリーの統合やディストリビューションの取り扱い等を整理し、令和4年1月度分から新ルールによる集計を開始した。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

(1)「違法音楽アプリ利用実態調査」を実施し、2月にオンラインで会員社報告会を行った。調査結果はプレスリリース配信を行い、報告書はHPでも公開した。

【再掲】

(2)「2021年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、ユーザーの音楽利用実態の推移や音楽消費の変化に関する定点調査に加え、「コロナ禍の音楽消費

変化」「定額制音楽配信サービス」を特定テーマに調査を行い、報告書に取りまとめた。会員社向けの報告会は、3月にオンラインで実施した。

[3]レコードを通じた 音楽文化の保存に関すること

1. 「文化庁芸術祭」への協力

「第76回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として70作品を参加申請し、参加が承認された33作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

2. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「第27回日本プロ音楽録音賞」を、当協会と一般社団法人日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人日本オーディオ協会および一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNにより共催し、12月6日にキング関口台スタジオにおいて授賞式を開催した。

[4]著作権および著作隣接権等の 普及・啓発に関すること

1. 音楽の違法利用を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法対策の専任組織「著作権保護・促進センター(CPPC)」において継続実施している動画共有サイト、ストレージサービス等に対する違法アップロードファイルの削除要請件数は、前年度比23%の約20万件となった(前年度約86万件)。
- (2) 海外サイトへの削除要請については、IFPIとの協働により、違法音楽アプリやリーチサイトにリンクする違法ファイル蔵置先であるストレージサービスおよびCDN(Content Delivery Network)への対策を継続実施した。
- (3) 著名なアーティスト名を騙る虚偽コンテンツの配信(なりすまし配信)に関して、迅速な削除対応や監視体制強化の申入れを大手DSPに対して行った。また、アグリゲーター経由で正規DSPから行われていた会員社音源の無許諾配信13件については、アグリゲーターに対して配信停止を要請した。
- (4) スマートフォン向けアプリストア運営事業者に対する違法音楽アプリの削除要請を実施(App Store: 10件、Google Play: 18件、合計28件)し、今年度末の時点でApp StoreおよびGoogle Playストアには削除対象となる音楽アプリは皆無となった。
また、違法音楽アプリのリストを、一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)を通じて広告関係団体へ定期的に提出し、当該団体会員社とリストの共有を図り、対象アプリへの広告出稿を行わないよう依頼を行った。
- (5) 違法音楽アプリについて、アプリストア側の協力により、削除申請からアプリ削除までの期間が平均7.7日

(前年度平均5.1日)となった。

- (6) 音楽ファイルの違法アップローダーや海賊版の頒布者に対する当協会会員社の告訴件数は20件であった(前年度実績10件)。
- (7) P2Pファイル共有ソフトの悪質利用者について、プロバイダに対し発信者情報開示請求および非開示利用者の氏名等の開示請求訴訟を提起した。前年度非開示の回答があった6IPについて、ISP5社に対して開示請求訴訟を提起し、5社ともに開示を命ずる判決を得た。また、新たにファイル共有ソフト悪質利用者35IPについてISP11社に対して発信者情報開示請求を実施した。

2. 著作権教育・啓発活動の実施

- (1) 大学寄附講座の開設
レコード産業・著作権制度への若年層の理解を深めることを目的とした大学寄附講座「情報化社会におけるエンターテインメントビジネスと知的財産」を、昨年度に引き続き明治大学で開講し、全14コマをオンライン形式で実施した。履修登録数は630名となった。また、今年度から電気通信大学で「AI時代のエンターテインメントビジネスと著作権」を一般社団法人日本音楽出版社協会と合同で開講し、全15コマを対面授業と生配信によるハイブリッド形式で実施した。登録数は313名となった。
- (2) 主に中高生を対象に行っている職場訪問・出張授業対応実績は、コロナ禍によるキャンセルが相次ぎ6校220名となった。
- (3) 音楽が制作される過程を学び、さらに上質な環境で音楽を体感する機会の提供を目的として、中高生を対象としたレコーディングスタジオ体験学習プログラムに、1校10名の学生が参加した。
- (4) 著作権啓発パンフレットは、文化庁主催著作権セミナー等で累計1,167部を配布した。

3. レコードの業務上の演奏利用から適正な対価が還元される法制度創設に向けた活動

「知的財産推進計画2022」の策定に関する意見書において、「レコード演奏・伝達権」の創設を要望した。

4. 「バリューギャップ」問題の解決に向けた活動

いわゆる「バリューギャップ」問題の解決を図るため、「知的財産推進計画2022」の策定に関する意見書において、動画投稿サイトに係る法的ルールの見直しを含め、動画サイト運営事業者・権利者間の不均衡を解消するための措置の検討を要望した。

5. DX時代に対応した著作権制度・政策の検討に関する対応

「知的財産推進計画2021」の方針に基づき、文化審議会著作権分科会は、過去コンテンツ・UGC・権利者不明著作物等の利用円滑化を主な目的とする「簡素で一元的な権利処理方策」の検討を行った。当協会も委員参加した同分科会の間中まとめにおいて、分野横断型の一元的な窓口組織を活用する権利処理の方向性が12

月に策定された。

また、同分科会は1月以降DX時代に対応した適切な対価還元方策の検討を行い、いわゆる「バリューギャップ問題」の調査研究等に着手した。

6. 放送の同時送信等に関する対応

放送番組同時配信等に関する権利処理の円滑化について、著作権法の一部を改正する法律案が5月に成立、令和4年1月施行となり、当協会が集中管理するレコードに関しては送信可能化権が許諾権として維持され、円滑な許諾取得のために必要な情報が探知できないレコード(被アクセス困難レコード)についてのみ、送信可能化権が許諾権から補償金請求権に変更された。

当協会は、被アクセス困難レコードに係る補償金など、改正法の運用に関する諸々の検討に参画するとともに、権利者が登録する円滑な許諾に必要な関係情報を新MINCの「音楽権利情報検索ナビ」で公表する仕組みを構築する文化庁委託事業にも協力した。

7. 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)への参加

授業目的公衆送信補償金の指定管理団体に参加し、分配ルール及び実務運用の検討、共通目的基金事業の検討等に参画し、運営支援等を行った。補償金の徴収は、文化庁長官に認可された額に基づき令和3年度から開始されている。当協会は、レコード製作者分の当該補償金の分配業務を担うべく、分配業務受託団体としてSARTRASに登録済みであり、分配額を決定する基礎資料となる利用報告データの整備業務を開始している。

[5]レコード等に関するデータの公表

1. 出版物の刊行

機関誌「THE RECORD」を隔月で発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、毎年発行している年間統計資料集「日本のレコード産業2022」は、3月に日本語版を発行した。英語版は4月、中国語版は5月に発行予定。

2. ホームページの運営

当協会の活動とレコード産業に関する様々な情報を幅広く提供した。

[6]レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. 放送二次使用料収入の安定的確保

- (1) 今年度以降の二次使用料について、日本放送協会との間で3年契約の合意が調った。

また、USENとの間で、有線・衛星ラジオ放送に係る今年度以降分の二次使用料に関し、契約改定の合意が整った。

- (2) 二次使用料・複製使用料等の徴収額の合計は82億1,500万円(前年度比2.7%減)、権利者分配額は77億1,700万円(前年度比3.1%減)となった。

2. 二次使用料の放送実績分配への完全移行

2024年度使用料(2025年3月分配)からの完全移行を目指した作業テーブルを作成するとともに、実績分配が実現していないインディーズ団体に対し本取組みを説明し理解を求めた。2022年度以降、それぞれの団体の会員に対する説明会等の支援を実施し、データ登録を促進していく。

3. 配信音源に係る二次使用料

配信音源に係る利用報告ルールの整備について、著作権管理団体、放送事業者・放送報告支援事業者、株式会社ジャパンミュージックデータ(jmd)等の関係者からの了解・協力の取り付けを完了し、2022年4月放送分から配信音源を含むレコード使用実績報告の受付を開始した。

[7]レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. ネット配信にかかる集中管理に関する取組み

- (1) ウェブキャスト(ネット独自番組の放送型配信)に係る集中管理要件の見直しを行い、令和4年4月以降、トーク番組でのBGMについてはレコード使用時間制限を課さない等の変更を行うこととした。
- (2) 民放地上波ラジオ番組のキャッチアップ配信に関し、配信期間を30日まで延長する場合に対応した使用料規程を整備した。

2. 教育・文化・プライダル分野のレコード利用集中管理事業の促進

- (1) プライダルに係るレコードの複製利用について、今年度の使用回数は225,208回(前年度比159.0%増)、徴収額は3億9,000万円(前年度比143.7%増)となった。

また、許諾を得ずにレコードを利用する事業者に対する警告を行うとともに、当該事業者が過去に利用したレコード使用料の遡及清算を実施した。さらに、支払いが滞った事業者に対しては内容証明郵便の送付、少額訴訟を提起するなど債権回収に努めた。

- (2) NHK放送コンテスト・バトントワーリング大会に係るレコードの複製利用について、今年度の許諾件数は692曲(前年度比72.6%増)、徴収額は895万円(前年度比43.0%増)となった。

(注:上記金額は、いずれも前項[6]1.(2)記載の合計徴収額の内数である)

[8]レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

徴収額は4億6,200万円(前年度比30.2%減)、権利者分配額は4億1,300万円(前年度比27.0%減)となった。

[9]私的録音補償金に関する指定管理団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の受領および分配

一般社団法人私的録音補償金管理協会(sarah)から450万円(前年度比2.3%増)を受領し、400万円(前年度比5.3%増)を権利者に分配した。

[10]その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等
文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体、ならびにIFPIおよびRIAA等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。

3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

会員社から発売された全邦楽作品7,851点について審査を行った。

4. 業界規格(RIS)の制定と改正

日本レコード協会規格(RIS)のうち、アナログディスクレコード(RIS202)、オーディオCD(RIS204)、オーディオカセットテープレコード(RIS306)の価格表示を総額(消費税込価格)表示に変更する部分改訂を行い、5月に発行した。また、レコード商品マスタ用オンラインデータ交換フォーマット(RIS504)別冊「各種コード一覧表」の改訂を行った。

5. ISRC(International Standard Recording Code)の管理機関としての活動

今年度は、Uプランの新規発行件数が30件(前年度32件)、Jプランの発行曲数14,132曲(前年度15,867曲)、また昨年度より運用を開始したMプランの新規発行件数は5件(前年度3件)となり、その結果、3月末時点の累計は登録者コード発行件数が1,948件、Mプラン発行件数8件、個別コード発行曲数が273,523曲となった。

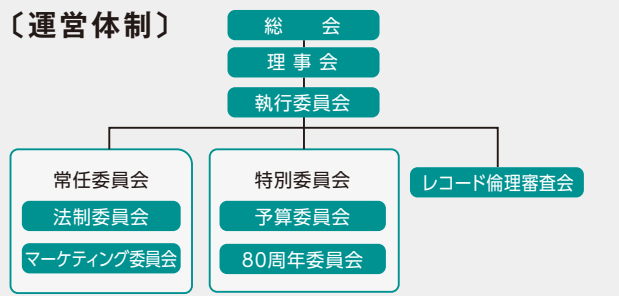
6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

今年度(第59回)は、7,536枚の音楽CDを全国社会就労センター協議会会員施設471箇所へ寄贈した。

7. 80周年記念事業

80周年特別委員会を設置し記念事業等の検討を行い、記念誌の制作と功労者表彰者を決定し受賞者への表彰及びインタビューを実施した。また、メディアを使ったメッセージ発信の一環として行った会長メッセージの発信について、会長インタビューが記事化された。

(運営体制)



Special Report

- 特報 -

東京国際ミュージック・マーケット、 新たなフェーズへ

～年間を通じた海外展開支援を強化 JMCEの取り組み

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、世界各国で行われていたマーケットイベントやフェス等も軒並み中止やオンライン開催になるなど、2年以上もの間、日本音楽の海外展開面でも大きな影響を受けてきたが、今年に入り、諸外国では次第にその制限が緩和され、日本でも海外アーティストの来日公演が予定されるなど、音楽産業でも徐々に海外とのリアルな往来が戻り始めている。

2004年からスタートした日本音楽の海外展開・国際交流を目的としたイベント「東京国際ミュージック・マーケット (TIMM/主催: 経済産業省、特定非営利活動法人 映像産業振興機構、一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団 (JMCE))」も、コロナ禍の影響から2020年に初のオンライン開催「TIMM ONLINE」を実施。当サイト内で商談・ビジネスマッチングやセミナー、ショーケースライブの配信など、リアル会場開催と同様のメニューをオンライン上で展開してきた。2年連続でオンライン開催となった昨年は、TIMMの会期 (11月1日～3日) 後1か月間の累計で57カ国・地域から約35,000名のアクセスを記録するなど、年間を通じた海外展開の支援ツールとして確立しつつある。

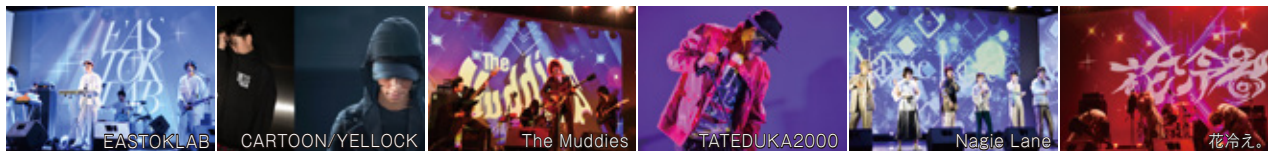
さらにJMCEは今年に入って新たな取り組み「TIMMショーケースライブシリーズ」をスタートさせた。以下、その狙いや今までの開催結果を紹介する。



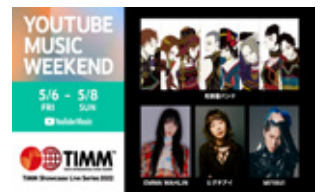
2022年からスタート・TIMMショーケースライブシリーズ

「TIMMショーケースライブシリーズ」は、TIMMの様々なプログラムの中でも特に参加者の評価の高いショーケースライブと個別商談会をオンラインで実施するもので、JMCEが2022年より新たに開始した。毎秋にリアル会場で開催するTIMMを集大成のイベントとして位置づけつつ、年間を通して継続的に「TIMMショーケースライブシリーズ」を実施することで切れ目なく日本音楽のビジネスマッチングやプロモーションを行い、海外展開の更なる促進を支援するのが狙いである。

第一回は1月24日(月)に行われ、「EASTOKLAB」「CARTOON/YELLOCK」「The Muddies」「TATEDUKA2000」「Nagie Lane」「花冷え。」の6組によるステージがYouTubeとTIMM ONLINE上で世界配信され、海外バイヤー等による視聴や商談会も併せて行われた。



第二回は、日本のアーティストの魅力を世界に広めるビジョンを掲げるYouTubeと連携し、同サービスが5月6日から8日に実施したイベント「YouTube Music Weekend vol.5」にTIMM推薦アーティストとして「和楽器バンド」「EMMA WAHLIN」「ヒグチアイ」「MIYAVI」の4組が参加した。5月9日からは、「TIMM ONLINE」にて同ライブ映像を配信し、海外の音楽業界関係者と出演者側の個別商談会も実施している。



2022年の第19回東京国際ミュージック・マーケット (19thTIMM) は3年ぶりのリアル会場開催が復活。 オンラインと融合させたハイブリッド開催を予定!

第19回東京国際ミュージック・マーケット (19thTIMM) の開催日程が決定した。今年は3年ぶりにリアル会場での開催を予定しており、10月17日(月)～19日(水)の3日間、「音楽の街・渋谷」でTIMMが展開される。海外バイヤー等を招聘した商談会やビジネスセミナーは18・19日の2日間、渋谷ストリームホールで開催。また、海外バイヤーや海外リスナーを対象としたショーケースライブは17～19日の3日間、渋谷のライブハウスで行われる(※)。

併せて、会期中に渋谷会場に来られない国内外の関係者もサポートするべく、「TIMM ONLINE」でも商談・ビジネスマッチングを実施すると共に、渋谷会場で行われるセミナー、ショーケースライブの配信も予定しており、「リアル会場+オンライン」という初のハイブリッド形式での開催を行い、日本音楽の海外展開を支援する予定である。なお、詳細については随時TIMMサイトにて発表される。



▶TIMMサイト <https://www.timmjp.com>

※今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては開催形式の変更、及びライブ実施会場名を非公表とする可能性がある。また、オンラインとリアル会場の提供するコンテンツは、内容や提供時間が異なる場合がある。

「知的財産推進計画2022」が決定

2022年6月3日、首相官邸で知的財産戦略本部会合が開催され、「知的財産推進計画2022」が決定・公表された。

今年度は、グローバルな競争環境の変化に対応し、国際競争力を高めるため、「スタートアップ・大学の知財エコシステムの強化」「知財・無形資産の投資・活用促進メカニズムの強化」「標準の戦略的活用の推進」「デジタル社会の実現に向けたデータ流通・利活用環境の整備」「デジタル時代のコンテンツ戦略」「中小企業／地方（地域）／農林水産業分野の知財活用強化」「知財活用を支える制度・運用・人材基盤の強化」「アフターコロナを見据えたクールジャパンの再起動」が重点8施策と整理されている。

本稿では、このうちレコード業界に関連する事項について、概要を紹介する。

デジタル時代のコンテンツ戦略

デジタル時代に対応した著作権制度・関連政策の改革

・著作物の利用円滑化と権利者への適切な対価還元を両立を図るため、過去コンテンツ、UGC、権利者不明著作物を始め、著作権等管理事業者が集中管理していないものを含めた膨大かつ多種多様な著作物等について、拡大集中許諾制度等を基に、様々な利用場面を想定した、簡素で一元的な権利処理が可能となるような制度を実現する。その際、内閣府、経済産業省、総務省、デジタル庁の協力を得ながら、デジタル時代のスピードの要請に対応した、デジタルで一元的に完結する手続きを目指して、①いわゆる拡大集中許諾制度等を基にした、分野を横断する一元窓口組織による新しい権利処理の仕組みの実現、②分野横断権利情報データベースの構築の検討、③集中管理の促進、④現行の著作権者不明等の著作物に係る裁定制度の改善（手続きの迅速化・簡素化）、⑤UGC等のデジタルコンテンツの利用促進を実現すべく、具体的な措置を検討し、2023年通常国会に著作権法の改正法案を提出し、所用の措置を講ずる。

・分野横断権利情報データベースについて、ニーズのある全ての分野のデータベースとの接続に加え、あらゆる分野の著作物等を対象として、権利情報の確認や利用許諾に係る意思表示（利用方法の提示を含む）ができる機能の確立方策について検討し、2022年内に結論を得る。UGCに係るプラットフォームが管理するデータベースとの連携についても検討する。

・分野を横断する一元窓口組織又は特定の管

理事業者による新しい権利処理の具体的な仕組みを検討し、2022年内に結論を得る。その際、著作権者等による①利用許諾の可否とその条件、②オプトアウトなどの意思表示、③利用・対価還元状況の把握及び④個々の許諾手続、並びに⑤データベースに権利情報がなく、集中管理がされておらず、窓口組織による探索等においても著作権者等が不明の場合、意思表示がされておらず、連絡が取れない場合、又は連絡を試みても返答がない場合等における著作権者不明等の著作物等に係る拡大集中許諾や裁定制度を含めて検討する。

・クリエイターに適切に対価が還元され、コンテンツの再生産につながるよう、デジタル時代に対応した新たな対価還元策やクリエイターの支援・育成策等について、コンテンツ配信プラットフォームや投稿サイト等における著作物等の利用状況や権利者の利益保護に関する実態把握も踏まえ、検討を進める。私的録音録画補償金制度については、新たな対価還元策が実現されるまでの過渡的な措置として、私的録音録画の実態等に応じた具体的な対象機器等の特定について、関係省庁による検討の結論を踏まえ、可能な限り早期に必要な措置を講ずる。

海賊版・模倣品対策の強化

・インターネット上の海賊版による被害拡大を防ぐため、2021年4月に更新したインターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表に基づき、関係府省が連携しながら、必要な取組を進めるとともに、被害状況や対策の効果について逐次検証を行い、更なる取組の推進を図る。

わたし

いちまい

私一枚

Season2



秋山 琢磨

株式会社BE BEe NEXT
代表取締役

【人生が変わる3分】という衝撃を、JUN SKY WALKER(S)の「全部このままで」で体感してしまった少年の頃の私は、ギターを手に入れ、「俺のROCKで世界を変えてやる」と息巻いていました。

中学2年の夏。当時チバテレビで夕方放映していた「テレビオ5」が新しい音楽との出会いを求める情報収集の場でした。そこで出会ったニューロティカの「Fight! ~Best Fight~」という曲に一発で心を打ち抜かれた私は、近所のCDショップ（本当はカメラ屋）や、電車を乗り継いで行く大きな街のCDショップで、アルバム「がむしゃら」、シングル「Fight! ~Best Fight~」のCDを探しまくりました。

千葉の片田舎ではどこにも置いていなくて、初めて「取り寄せ」をお願いして数日後手に入れる事が出来ました。結果、手に入れる為の交通費の方が高くなりました(笑)。そのCDをプレイヤーで再生する時の自分の手元の光景を今でも鮮明に覚えています。

結果、一生忘れられない大切な一枚となりました。

その一枚から、更に私の人生は大きく動き出しました。初めてライブハウスに行きました。今はすでに閉店してしまった”市川CLUB GIO”でのニューロティカが私の人生初ライブハウス体験で、鉦ジャン革ジャンだらけのお客さんの中にひとり粉れた小さな中学生。もみくちゃにされながら楽しすぎる感動の経験でした。



「Fight~Best Fight~」

ニューロティカ



『がむしゃら』

ニューロティカ

ニューロティカの対バンで出会うバンド達にもたくさん刺激を受けました。

“ニューロティカトリビュートナイト”と銘打って私が開催したイベントのアンコールで、メンバーに混ざって1曲演奏させていただいた事は一生の宝物です。

それらのライブハウスでの出会い達が、今の私の人生になっているのは間違いありません。

2022年1月3日。そんなニューロティカの、結成38年にし初めの武道館という大舞台も、もちろん参加させていただきました。

こんな愛され方をするバンドを自分も愛してこれた事が、とても誇らしくありました。

38年の歴史で唄う曲達は、その曲達のCDジャケットや、買った時の景色など、1つ1つ思い出させてくれました。

きっと配信で出会っていたら知る事の出来ない想いがたくさんあったと思います。

ただどっぴり恥ずかしい気持ちもあるのはニューロティカならではの感情かなと思ったりしています。

アーティストと共に生きていく事。

一生連れ添っていききたい音楽があるという事。

私はこれらに出会えてとても幸せだったと思います。

どうか未来の子供達が、一生連れ添っていききたい音楽、一生一緒に生きたいアーティストに出会え、共に歳を重ねていきたいと思う憧れがありつづける日本の音楽でありますようにと、そしてそんな音楽、アーティストを私自身も生み出していきますようにと、これからも日々精進したいと思います。



2022年第1四半期音楽配信売上実績公表

音楽配信売上は251億円(前年同期比118%) 四半期ベースで初の250億円超
ストリーミングが218億円(同128%)とシェア9割に迫る勢い

2022年第1四半期(1月~3月)の音楽配信売上実績は前年同期比118%の251億900万円となった。四半期ベースでの250億円超えは、音楽配信統計集計以来初となる。内訳は以下の通りである。

なお、今期より市場動向を踏まえた集計区分の変更を行い、「Master ringtones」「Ringback tones」は「その他」に統合、ダウンロードのカテゴリ別集計(PC配信・スマートフォン、フィーチャーフォン)を廃止した。

▶音楽配信売上 四半期数値・統計区分：<https://www.riaj.or.jp/f/data/online.html>

■音楽配信売上実績

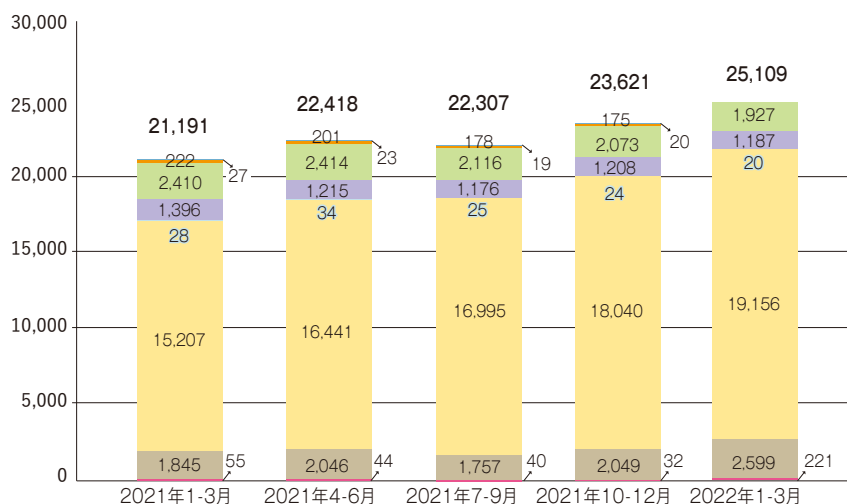
(単位)数量:千回,金額:百万円

		2022年第1四半期(1月~3月) 累計			
		数量	前年同期比	金額	前年同期比
ダウンロード	シングルトラック	12,433	85%	1,927	80%
	アルバム	966	81%	1,187	85%
	音楽ビデオ	61	68%	20	71%
	ダウンロード計	13,461	84%	3,134	82%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽			18,185	124%
	サブスクリプション/音楽ビデオ			971	164%
	広告収入/音楽			1,033	168%
	広告収入/音楽ビデオ			1,566	127%
	ストリーミング計			21,755	128%
その他				221	-
合計		13,461	69%	25,109	118%

備考 1・本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。
2・単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

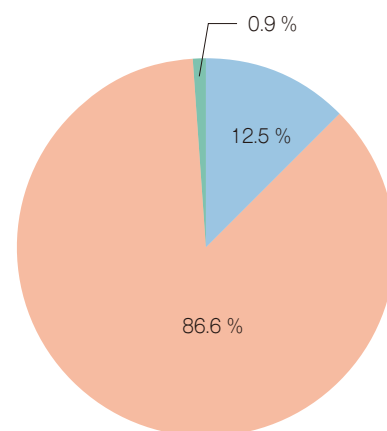
注:数量…ダウンロード回数

■音楽配信四半期毎金額推移



ダウンロード: Master ringtones, Ringback tones, シングルトラック, アルバム, 音楽ビデオ
ストリーミング: サブスクリプション, 広告収入, その他
単位:百万円

■2022年第1四半期音楽配信売上金額 区分別シェア



※ その他…Master ringtones, Ringback tones, その他のデジタルコンテンツの合計

4月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比131%の1,361万枚・巻、金額で同161%の189億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比112%の907万枚・巻、金額で同138%の116億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比197%の454万枚・巻、金額で同221%の72億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	4月実績						2022年1月~2022年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
8cmCD シングル	邦	6	0	2899%	4	0	2648%	10	0	286%	6	0	373%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	6	0	2899%	4	0	2648%	10	0	292%	6	0	381%
12cmCD シングル	邦	4,327	48	159%	4,143	36	174%	9,868	33	112%	9,204	24	116%
	洋	1	0	0%	2	0	0%	8	0	1%	9	0	2%
	計	4,328	48	132%	4,145	36	146%	9,876	33	105%	9,213	24	109%
シングル 計	邦	4,332	48	159%	4,147	36	175%	9,878	33	112%	9,210	24	116%
	洋	1	0	0%	2	0	0%	8	0	1%	9	0	2%
	計	4,334	48	132%	4,149	36	146%	9,886	33	105%	9,219	24	109%
12cmCD アルバム	邦	3,846	42	110%	6,400	55	147%	16,700	56	90%	25,318	66	106%
	洋	630	7	55%	630	5	69%	2,760	9	82%	2,577	7	83%
	計	4,476	49	96%	7,029	60	133%	19,460	65	89%	27,896	73	103%
CD計	邦	8,178	90	131%	10,547	91	157%	26,578	89	97%	34,529	90	109%
	洋	632	7	37%	631	5	46%	2,768	9	70%	2,586	7	72%
	計	8,810	97	111%	11,178	96	138%	29,346	98	94%	37,115	97	105%
アナログ ディスク	邦	136	1	128%	252	2	98%	350	1	120%	651	2	97%
	洋	77	1	253%	152	1	285%	183	1	144%	371	1	159%
	計	213	2	156%	404	3	130%	533	2	127%	1,022	3	113%
カセット テープ	邦	5	0	135%	5	0	247%	13	0	18%	13	0	18%
	洋	1	0	131%	1	0	212%	2	0	94%	3	0	132%
	計	6	0	135%	7	0	240%	15	0	20%	16	0	21%
その他	邦	21	0	180%	29	0	136%	37	0	84%	53	0	78%
	洋	21	0	163%	30	0	104%	82	0	129%	141	0	118%
	計	42	0	171%	59	1	118%	119	0	111%	194	1	104%
合計	邦	8,340	92	131%	10,833	93	154%	26,978	90	97%	35,246	92	108%
	洋	731	8	41%	814	7	56%	3,035	10	73%	3,100	8	79%
	計	9,071	100	112%	11,647	100	138%	30,012	100	94%	38,346	100	105%

音楽ビデオ

	4月実績						2022年1月~2022年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	2,432	54	208%	3,117	43	219%	6,902	54	78%	9,204	44	78%
	洋	11	0	55%	13	0	64%	46	0	68%	66	0	91%
	計	2,444	54	206%	3,130	43	217%	6,949	54	78%	9,270	44	79%
ブルーレイ ディスク	邦	2,090	46	206%	4,078	56	229%	5,815	45	109%	11,796	56	104%
	洋	7	0	7%	14	0	36%	29	0	24%	86	0	115%
	計	2,097	46	187%	4,092	57	224%	5,844	46	108%	11,882	56	104%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	邦	4,522	100	207%	7,195	100	225%	12,717	99	90%	21,000	99	91%
	洋	19	0	15%	27	0	45%	75	1	40%	152	1	103%
	計	4,541	100	197%	7,222	100	221%	12,792	100	89%	21,152	100	91%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	4月実績						2022年1月~2022年4月 累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
オーディオレコード計	9,071	67	112%	11,647	62	138%	30,012	70	94%	38,346	64	105%	
音楽ビデオ計	4,541	33	197%	7,222	38	221%	12,792	30	89%	21,152	36	91%	
合計	邦	12,862	94	151%	18,028	96	176%	39,695	93	95%	56,246	95	101%
	洋	750	6	40%	841	4	56%	3,110	7	72%	3,252	5	80%
	計	13,612	100	131%	18,869	100	161%	42,805	100	93%	59,498	100	99%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	4月実績						2022年1月~2022年4月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	3,620	57	161%	5,046	45	178%	10,738	57	78%	14,931	43	81%
ブルーレイディスク	2,770	43	145%	6,132	55	130%	8,247	43	96%	19,525	57	86%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	6,390	100	154%	11,178	100	148%	18,985	100	85%	34,456	100	84%

オーディオ/ビデオレコード合計

	4月実績						2022年1月~2022年4月 累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオレコード計	9,071	59	112%	11,647	51	138%	30,012	61	94%	38,346	53	105%
ビデオレコード計	6,390	41	154%	11,178	49	148%	18,985	39	85%	34,456	47	84%
合計	15,461	100	126%	22,825	100	143%	48,997	100	91%	72,802	100	94%

備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

5月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比125%の1,253万枚・巻、金額で同133%の162億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比130%の952万枚・巻、金額で同154%の120億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比113%の302万枚・巻、金額で同96%の42億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	5月実績						2022年1月~2022年5月 累計						
	数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比	
8cmCD シングル	邦	10	0	1288%	12	0	2178%	20	0	481%	18	0	820%
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	10	0	1288%	12	0	2178%	20	0	486%	18	0	825%
12cmCD シングル	邦	2,118	22	123%	1,814	15	129%	11,986	30	114%	11,018	22	118%
	洋	0	0	13%	0	0	11%	8	0	1%	9	0	2%
	計	2,119	22	123%	1,814	15	129%	11,995	30	108%	11,027	22	112%
シングル 計	邦	2,129	22	123%	1,826	15	130%	12,006	30	114%	11,036	22	118%
	洋	0	0	13%	0	0	11%	9	0	1%	9	0	2%
	計	2,129	22	123%	1,826	15	129%	12,015	30	108%	11,045	22	112%
12cmCD アルバム	邦	4,930	52	107%	6,928	58	128%	21,631	55	94%	32,246	64	110%
	洋	2,265	24	281%	2,839	24	401%	5,025	13	120%	5,416	11	142%
	計	7,195	76	132%	9,767	81	160%	26,655	67	98%	37,662	75	114%
CD計	邦	7,059	74	111%	8,754	73	129%	33,637	85	100%	43,282	86	112%
	洋	2,265	24	280%	2,839	24	400%	5,033	13	106%	5,425	11	126%
	計	9,324	98	130%	11,593	97	154%	38,670	98	101%	48,708	97	113%
アナログ ディスク	邦	97	1	98%	189	2	120%	447	1	114%	840	2	102%
	洋	66	1	145%	156	1	179%	248	1	144%	527	1	165%
	計	163	2	112%	345	3	141%	696	2	123%	1,367	3	119%
カセット テープ	邦	4	0	161%	4	0	184%	17	0	23%	17	0	23%
	洋	1	0	186%	1	0	188%	2	0	111%	4	0	143%
	計	5	0	164%	5	0	184%	19	0	25%	21	0	27%
その他	邦	10	0	310%	18	0	240%	47	0	100%	71	0	94%
	洋	13	0	74%	27	0	77%	95	0	117%	167	0	109%
	計	24	0	111%	45	0	106%	143	0	111%	239	0	104%
合計	邦	7,170	75	111%	8,965	75	129%	34,148	86	100%	44,211	88	112%
	洋	2,345	25	269%	3,023	25	363%	5,379	14	107%	6,123	12	128%
	計	9,515	100	130%	11,988	100	154%	39,528	100	101%	50,334	100	113%

音楽ビデオ

	5月実績						2022年1月~2022年5月 累計						
	数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比	
DVD	邦	1,837	61	111%	2,005	47	71%	8,739	55	83%	11,209	44	77%
	洋	16	1	130%	23	1	145%	62	0	78%	89	0	101%
	計	1,853	61	112%	2,028	48	71%	8,801	56	83%	11,297	45	77%
ブルーレイ ディスク	邦	1,147	38	114%	2,145	51	142%	6,962	44	110%	13,941	55	108%
	洋	17	1	347%	50	1	454%	46	0	36%	137	1	159%
	計	1,164	39	116%	2,196	52	144%	7,008	44	109%	14,078	55	108%
テープ・その他	邦	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
	計	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	邦	2,984	99	113%	4,150	98	95%	15,701	99	93%	25,150	99	92%
	洋	33	1	192%	73	2	273%	108	1	52%	225	1	129%
	計	3,017	100	113%	4,223	100	96%	15,809	100	93%	25,375	100	92%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	5月実績						2022年1月~2022年5月 累計						
	数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比	
オーディオレコード計	9,515	76	130%	11,988	74	154%	39,528	71	101%	50,334	66	113%	
音楽ビデオ計	3,017	24	113%	4,223	26	96%	15,809	29	93%	25,375	34	92%	
合計	邦	10,154	81	111%	13,115	81	116%	49,849	90	98%	69,361	92	103%
	洋	2,377	19	267%	3,096	19	361%	5,487	10	105%	6,349	8	128%
	計	12,532	100	125%	16,212	100	133%	55,336	100	99%	75,710	100	105%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

	5月実績						2022年1月~2022年5月 累計					
	数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD	2,776	64	80%	3,034	45	48%	13,514	58	79%	17,965	44	72%
ブルーレイディスク	1,575	36	73%	3,738	55	59%	9,822	42	92%	23,264	56	80%
テープ・その他	0	0	-	0	0	-	0	0	-	0	0	-
合計	4,351	100	77%	6,772	100	54%	23,336	100	84%	41,228	100	77%

オーディオ/ビデオレコード合計

	5月実績						2022年1月~2022年5月 累計					
	数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計	9,515	69	130%	11,988	64	154%	39,528	63	101%	50,334	55	113%
ビデオレコード計	4,351	31	77%	6,772	36	54%	23,336	37	84%	41,228	45	77%
合計	13,866	100	107%	18,761	100	92%	62,864	100	94%	91,562	100	93%

- 備考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
 2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
 3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

Certification

2022年4月度

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

トリプル・プラチナ

I	INI	2022.04.20	LAPONE ENTERTAINMENT
---	-----	------------	----------------------

ダブル・プラチナ

Lovin' you / 踊るように人生を。	King & Prince	2022.04.13	ユニバーサル ミュージック
五月雨よ	櫻坂46	2022.04.06	ソニー・ミュージックレーベルズ
The Answer / サチアレ	なにわ男子	2022.04.27	ジェイ・ストーム

プラチナ

花は誰のもの?	STU48	2022.04.13	キングレコード
---------	-------	------------	---------

ゴールド

一途/逆夢	King Gnu	2021.12.29	ソニー・ミュージックレーベルズ
チョコレートメランコリー	≠ME	2022.02.16	キングレコード

アルバム | 邦楽

ゴールド

マクロス40周年記念 超時空コラボアルバム 「デカルチャー!!ミクス チャー!!!!!!」	シェリル・ランカ・ ワルキューレ	2022.04.06	フライングドッグ
#TWICE4	TWICE	2022.03.16	ワーナーミュージック・ジャパン

アルバム | 洋楽

ゴールド

ベートーヴェン: 交響曲第5番《運命》・第7番	カルロス・クライバー/ ウイーン・フィルハーモ ニー管弦楽団	1996.10.02	ユニバーサル ミュージック
----------------------------	--------------------------------------	------------	---------------

ビデオ | 邦楽

ゴールド

LIVE TOUR V6 groove	V6	2022.04.13	エイベックス・エンタテインメント
---------------------	----	------------	------------------

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

プラチナ

笑えれば	ウルフルズ	2004.12.23	ユニバーサル ミュージック
The Everlasting Guilty Crown	EGOIST	2012.02.29	ソニー・ミュージックレーベルズ

ゴールド

ツキミソウ	Novelbright	2020.12.11	ユニバーサル ミュージック
-------	-------------	------------	---------------

※日付は配信開始日

認定基準

ゴールドディスク認定(音楽ソフト/カテゴリ: アルバム、シングル、音楽ビデオ)
ダウンロード認定(ダウンロード/カテゴリ: 着うた®, シングルトラック、アルバム)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

プラチナ

逆夢	King Gnu	2021.12.24	ソニー・ミュージックレーベルズ
秒針を噛む	ずっと真夜中でいいのに。	2018.08.30	ユニバーサル ミュージック
FAKE LOVE	BTS	2018.05.18	ユニバーサル ミュージック
Wanted! Wanted!	Mrs. GREEN APPLE	2017.08.29	ユニバーサル ミュージック
ヨワネハキ	MAISONdes feat. 和ぬか, asmi	2021.05.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
第六感	Reol	2020.07.29	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント

ゴールド

CALL 119	INI	2022.03.20	ユニバーサル ミュージック
常緑	大橋ちっぼけ	2021.09.01	日本コロムビア
花	ORANGE RANGE	2013.03.04	ソニー・ミュージックレーベルズ
カメレオン	King Gnu	2022.02.28	ソニー・ミュージックレーベルズ
友よ ~ この先もずっと...	ケツメイシ	2016.03.23	エイベックス・エンタテインメント
不協和音	櫻坂46	2017.04.05	ソニー・ミュージックレーベルズ
HOME	清水 翔太	2013.03.04	ソニー・ミュージックレーベルズ
チェリー	スピッツ	2019.10.09	ユニバーサル ミュージック
虹色の戦争	SEKAI NO OWARI	2019.01.18	トイズファクトリー
灯火	Vaundy	2020.04.27	SDR
瞬き	back number	2020.10.05	ユニバーサル ミュージック
Answer : Love Myself	BTS	2018.08.24	ユニバーサル ミュージック
Mikrokosmos	BTS	2019.04.12	ユニバーサル ミュージック
I NEED U	BTS	2020.02.22	ユニバーサル ミュージック
旅路	藤井 風	2021.03.01	ユニバーサル ミュージック
スマイル	森 七菜	2020.07.19	ソニー・ミュージックレーベルズ
レオ	優里	2022.01.12	ソニー・ミュージックレーベルズ
100万回の「I love you」	Rake	2014.04.25	ソニー・ミュージックレーベルズ

トラック | 洋楽

ゴールド

One Last Time	Ariana Grande	2015.07.01	ユニバーサル ミュージック
Rise (feat. Jack & Jack)	Jonas Blue	2018.05.25	ユニバーサル ミュージック
Runaway Baby	Bruno Mars	2012.07.03	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

【基準単位】ゴールドディスク認定: 枚数、ダウンロード認定: ダウンロード数

備考 1. 着うた® のみダブル・プラチナ以上を顕彰

2[着うた®]は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です

3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

ゴールドディスク認定

シングル | 邦楽

トリプル・プラチナ

Actually...	乃木坂46	2022.03.23	ソニー・ミュージックレーベルズ
-------------	-------	------------	-----------------

ダブル・プラチナ

DIMENSION : 閃光	ENHYPEN	2022.05.03	ユニバーサル ミュージック
----------------	---------	------------	---------------

プラチナ

元カレです	AKB48	2022.05.18	キングレコード
area/恋をするんだ/春玄鳥	Hey! Say! JUMP	2022.05.25	ジェイ・ストーム
M/八七	米津玄師	2022.05.18	ソニー・ミュージックレーベルズ

ゴールド

あの子コンプレックス	=LOVE	2022.05.25	ソニー・ミュージックレーベルズ
Bye-Good-Bye	BE:FIRST	2022.05.18	エイベックス・エンタテインメント

アルバム | 邦楽

プラチナ

KIZUNA	JO1	2022.05.25	LAPONE ENTERTAINMENT
Mr.Children 2011 - 2015	Mr.Children	2022.05.11	トイズファクトリー
Mr.Children 2015 - 2021 & NOW	Mr.Children	2022.05.11	トイズファクトリー

ゴールド

BORDER : DAY ONE	ENHYPEN	2020.11.30	ユニバーサル ミュージック
minisode 2: Thursday's Child	TOMORROW X TOGETHER	2022.05.17	ユニバーサル ミュージック

ビデオ | 邦楽

ダブル・プラチナ

Snow Man LIVE TOUR 2021 Mania	Snow Man	2022.05.04	エイベックス・エンタテインメント
-------------------------------	----------	------------	------------------

ゴールド

KANJANI'S Re:LIVE 8BEAT	関ジャニ∞	2022.05.18	ジェイ・ストーム (インフィニティ・レコーズ)
ジャニーズWEST LIVE TOUR 2021 rainboW	ジャニーズWEST	2022.05.11	ジェイ・ストーム (ジャニーズエンタテインメント・レコード)

※日付は発売日

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

ゴールド

アルデバラン	AI	2021.11.01	ユニバーサル ミュージック
M/八七	米津玄師	2022.05.13	ソニー・ミュージックレーベルズ

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

プラチナ

桜が降る夜は	あいみょん	2021.02.17	ワーナーミュージック・ジャパン
ハート	あいみょん	2021.10.20	ワーナーミュージック・ジャパン
The Feels	TWICE	2021.10.01	ワーナーミュージック・ジャパン
ヒロイン	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
優しい彗星	YOASOBI	2021.01.20	ソニー・ミュージックエンタテインメント

ゴールド

ミックスナッツ	Official髭男dism	2022.04.15	ポニーキャニオン
Slumberland	King Gnu	2018.12.14	ソニー・ミュージックレーベルズ
のびしろ	Creepy Nuts	2021.08.25	ソニー・ミュージックレーベルズ
全力少年	スキマスイッチ	2018.03.19	ユニバーサル ミュージック
ホワイトキス	鈴木鈴木	2021.11.18	ユニバーサル ミュージック
フィクション	sumika	2018.12.25	ソニー・ミュージックレーベルズ
大阪LOVER	DREAMS COME TRUE	2017.10.02	ユニバーサル ミュージック
Chopstick	NiziU	2021.11.11	ソニー・ミュージックレーベルズ
Crystal Snow	BTS	2017.12.06	ユニバーサル ミュージック
Shining One	BE:FIRST	2021.08.16	エイベックス・エンタテインメント
Bye-Good-Bye	BE:FIRST	2022.03.07	エイベックス・エンタテインメント
BOOMBAYAH	BLACKPINK	2017.08.08	エイベックス・エンタテインメント
CHEERS	Mrs. GREEN APPLE	2019.09.19	ユニバーサル ミュージック
パブリカ	米津玄師	2020.08.05	ソニー・ミュージックレーベルズ
明け星	LISA	2021.10.18	ソニー・ミュージックレーベルズ

トラック | 洋楽

ゴールド

Closer (Tokyo Remix) (feat. 新田 真剣佑)	The Chainsmokers	2020.02.06	ソニー・ミュージックレーベルズ
The Middle	Zedd, Maren Morris, Grey	2018.01.23	ユニバーサル ミュージック

※日付は配信開始日

ストリーミング認定(ストリーミング/カテゴリ:トラック)

【基準単位】ストリーム数

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド
基準	5千万以上	1億以上	5億以上

備考 1. 数量は、GfK Japan(ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社)の提供データを元に当協会にて累計ストリーム数を算出したもの
 2. 集計対象音楽ストリーミングサービス: Amazon Music Unlimited, Apple Music, AWA, KKBOX, LINE MUSIC, Rakuten Music, Spotify, TOWER RECORDS MUSIC powered by レコチョク, Amazon Music Prime, YouTube Music, YouTube Music Premium
 下記終了済サービスの再生回数も累積して集計しています。
 dミュージック月額コース、Google Play Music、HMVmusic Powered by KKBOX、RecMusic

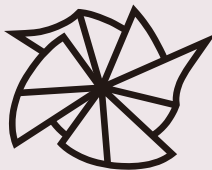
協会からのお知らせ

令和4年度(第77回)文化庁芸術祭参加作品の募集について

文化庁では、令和4年度(第77回)文化庁芸術祭の参加作品を募集しています。対象は「演劇」「音楽」「舞踊」「大衆芸能」の公演および「テレビ」「ラジオ」「レコード」の作品です。

応募公演・作品は、各部門で審査を行い、優れた成果をあげた公演・作品には文部科学大臣より賞が贈呈されます。

詳細は以下URLをご参照の上、奮ってご応募ください。

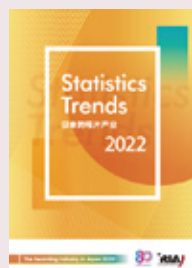


▶文化庁芸術祭ホームページ

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/jutenshien/geijutsusai/r04/93713201.html>

『日本のレコード産業』中国語版発行

当協会は、『日本のレコード産業2022』の中国語版である『日本的唱片产业2022』を発行いたしました。本誌は2021年のレコード産業の概要を網羅した小冊子で、日本語版同様、レコードの生産実績、音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定などの情報を幅広く掲載しています。本誌のPDF版については以下URLをご覧ください。



▶RIAJ『日本的唱片产业2022』

<https://www.riaj.or.jp/f/pdf/issue/industry/RIAJ2022C.pdf>

編集後記

今号が発行される頃は夏休みシーズンに入っていますが、6月から季節外れの猛暑の今年。どのような暑さが待ち受けているのかと少しうんざりしています。一方で、夏フェスや夏祭り、帰省など、久しぶりに夏を満喫できそうなイベントが増えてきたのが楽しみです!(K)

THE RECORD No.740 2022年7・8月合併号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 村松 俊亮

編集人 畑 陽一郎

発行日 2022年7月25日

発行 一般社団法人 日本レコード協会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階

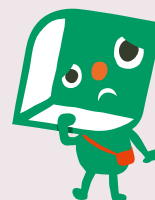
TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313

URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / 合同会社ヤマモトカウシル

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら

当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せください。



エルマークキャラクター

エルマーくん